

# 「結婚」に関するアンケート調査

## アンケートの質問項目

### 1 未婚の方の意識

- (1) 未婚・既婚の別
- (2) 未婚者の生涯の結婚意志
- (3) 希望する結婚年齢
- (4) 結婚相手との希望年齢差
- (5) 独身でいる理由
- (6) 結婚相手の条件として考慮・重視する割合
- (7) 未婚者の希望子ども数
- (8) 未婚者のライフスタイル
- (9) 婚活の状況
- (10) 異性との交際の状況
- (11) 結婚を考えたとき気になること

### 2 既婚の方の意識

- (1) 出会いのきっかけ
- (2) 結婚のきっかけ
- (3) 理想子ども数
- (4) 予定子ども数

### 3 若者全体の意識

- (1) 結婚の利点
- (2) 独身の利点
- (3) 結婚・家族に関する意識
- (4) 未婚・晩婚の原因
- (5) 出生率が低い原因
- (6) 結婚についての支援

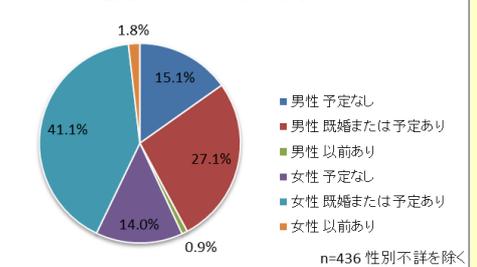
平成24年(2012年)10月に実施した、「結婚」に関するアンケートの結果がまとまりました。この調査は、市内の若者の結婚に対する意識などを調査し、人口減少・少子化対策、子育て支援政策などのために役立てる目的で実施したものです。

21項目の設問のうち、主なものを抜粋してお知らせします。

## 調査の概要

調査地域	南魚沼市全域
調査対象	年齢18歳以上45歳未満(平成24年4月1日現在)の市民のうち1,500人を住民基本台帳から無作為に抽出
調査方法	郵送法およびインターネット回答
調査期間	平成24年10月5日(金) ～平成24年10月31日(水)
回収数	437 (回収率29.1%)

図1 回答者の未婚・既婚の別



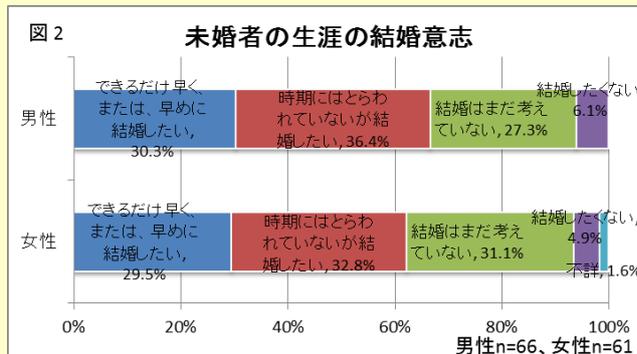
## 未婚の方にたずねた事項

9割以上は結婚する気がある。

## 「結婚」について、あなたのお気持ちをお聞かせください。

### 未婚者の生涯の結婚意志

いずれは結婚しようと思っている未婚者の割合は6割強ほど。「結婚はまだ考えていない」を肯定的に含めると、9割を超える。「結婚したくない」とする未婚者は、男性 6.1%、女性 4.9%となった。



## 何歳くらいで結婚したいと思いますか？

### 希望する結婚年齢

男女とも年齢が高くなるにつれ、現在の自分の年齢に近い年齢(近い将来)での結婚を望んでいる。特に女性は30歳、男性は35歳を超えると近い将来の年齢での結婚を望んでいるといえる。

男性	希望する結婚年齢							n=45
	20歳になる前	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45歳以上	
18～19歳 *	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
20～24歳		8.3%	83.3%	8.3%	0.0%	0.0%	0.0%	
25～29歳			75.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
30～34歳				63.6%	36.4%	0.0%	0.0%	
35～39歳					100.0%	0.0%	0.0%	
40歳代						80.0%	20.0%	

女性	希望する結婚年齢							n=39
	20歳になる前	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45歳以上	
18～19歳	20.0%	40.0%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
20～24歳		36.4%	54.5%	9.1%	0.0%	0.0%	0.0%	
25～29歳			37.5%	62.5%	0.0%	0.0%	0.0%	
30～34歳				100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
35～39歳					100.0%	0.0%	0.0%	
40歳代						80.0%	20.0%	

対象は、「できるだけ早く、または、早めに結婚したい」または「時期にはとらわれないが結婚したい」と回答した結婚未経験者。

\* サンプル数少数のため、参考数値

女性は30歳、男性は35歳を超えると、近い将来の年齢での結婚を望んでいる。

# 結婚する相手に求める条件は？

## 結婚相手の条件として考慮・重視する割合

結婚の意思のある未婚者が、結婚相手に求める条件としては、男女とも「性格・人柄」を重視または考慮する人が最も多く、特に女性では100%の人が重視または考慮すると答えている。同様に「価値観」についても大多数の未婚者が重視している。「容姿・スタイル」も男女とも高い割合となっているが、特筆すべきは、男女とも重視する割合は高くはないが、考慮する割合が大変高いことだ。

男女差をみると、男性は「家事の能力」を求める割合が高く、女性は「経済力」「職業」「自分の家族・友人・知人の評価」を重視・考慮する比率が高い。

やっぱり、性格・人柄。

そして、  
男性は「家事の能力」を、  
女性は「経済力」「職業」「周りの評価」を重視する  
傾向

図 6-1 結婚相手の条件として考慮・重視する割合【男性】

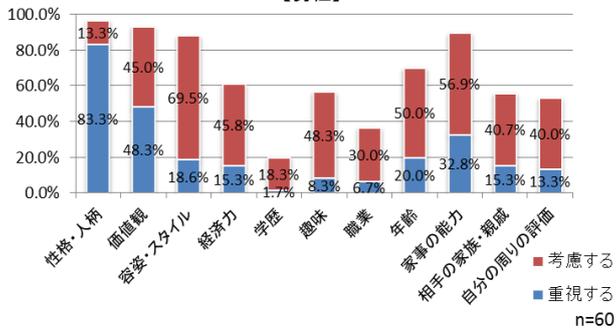
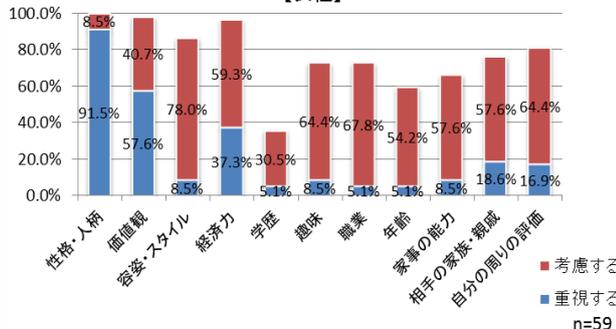


図 6-2 結婚相手の条件として考慮・重視する割合【女性】



設問:「あなたが、結婚する相手に求める条件は？それぞれあてはまる番号に○をつけてください。」(1. 重視する 2. 考慮する 3. 気にしない)

## 結婚について考えたとき、どんなことが気になりますか？

### 結婚を考えたとき気になること

(複数回答)

結婚後、生活スタイル・余暇・住む場所・お金の自由が保てるか が気になり

「自分の生活リズムや生活スタイルを保てるか」「余暇や遊びの時間を自由に取れるか」「住む場所が制約されないか」「お金を自由に使えるか」が上位を占めた。

人口問題研究所の全国調査(2010)結果との比較では、男女とも「住む場所が制約されないか」と考える割合が各市では高く、「ファッションや食物などの好み制約されないか」と考える男性の割合が高く、「お金を自由に使えるか」と考える女性の割合が低い。

		お金を自由に使えるか	職業を自由に選べるか	仕事(学業)の時間を自由に取れるか	余暇や遊びの時間を自由に取れるか	住む場所が制約されないか	自分の生活リズムやスタイルを保てるか	ファッション・食物などの好み制約されないか	自由な人生設計ができるか
男性	総数	37.7%	19.7%	21.3%	50.8%	36.1%	65.6%	21.3%	26.2%
	18~24歳	50.0%	25.0%	29.2%	58.3%	54.2%	58.3%	29.2%	33.3%
	25~34歳	27.3%	9.1%	22.7%	45.5%	22.7%	59.1%	22.7%	22.7%
	35~45歳	25.0%	20.0%	5.0%	35.0%	20.0%	65.0%	5.0%	15.0%
女性	総数	25.8%	21.2%	33.3%	53.0%	27.3%	54.5%	27.3%	24.2%
	18~24歳	33.3%	23.3%	36.7%	50.0%	23.3%	60.0%	23.3%	30.0%
	25~34歳	29.4%	35.3%	47.1%	70.6%	41.2%	64.7%	35.3%	35.3%
	35~45歳	14.3%	7.1%	21.4%	57.1%	28.6%	50.0%	35.7%	7.1%

男性 n=66 女性 n=61

注)それぞれの項目にあてはまる全てに回答が可能

## 既婚の方にたずねた事項

### 最終的に結婚を決めたきっかけは何ですか？

#### 結婚のきっかけ

(複数回答)

「年齢的に適当な時期だと感じた」がトップだが、年代によって違いが。

「年齢的に適当な時期だと感じた」「できるだけ早く一緒に暮らしたかった」というきっかけが多数を占める。ただし、「年齢的に適当な時期だと感じた」人の割合は25歳を超えてから高くなり、「できるだけ早く一緒に暮らしたかった」と感じた割合は若い年齢層が高い。

		結婚資金の用意ができた	結婚生活のための経済的基盤ができた	自分または相手の仕事の事情	できるだけ早く一緒に暮らしたかった	年齢的に適当な時期だと感じた	できるだけ早く子どもがほしかった	子どもができた	友人や同年代の人たちの結婚	親や周囲のすすめ	その他
男性	総数	0.8%	6.6%	4.1%	33.9%	43.0%	5.8%	19.0%	5.0%	8.3%	6.6%
	18~24歳*	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%	66.7%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%
	25~29歳	0.0%	11.8%	11.8%	29.4%	17.6%	5.9%	29.4%	0.0%	11.8%	0.0%
	30~34歳	0.0%	14.8%	7.4%	18.5%	51.9%	7.4%	11.1%	7.4%	14.8%	11.1%
	35歳~	1.4%	2.7%	1.4%	39.2%	43.2%	5.4%	18.9%	5.4%	5.4%	6.8%
女性	総数	1.6%	4.8%	5.3%	21.4%	51.9%	11.2%	19.3%	4.8%	9.6%	14.4%
	18~24歳*	0.0%	0.0%	0.0%	60.0%	0.0%	40.0%	40.0%	0.0%	20.0%	0.0%
	25~29歳	0.0%	3.8%	11.5%	26.9%	53.8%	11.5%	19.2%	3.8%	3.8%	11.5%
	30~34歳	2.3%	2.3%	6.8%	25.0%	47.7%	13.6%	22.7%	2.3%	9.1%	13.6%
	35歳~	1.8%	6.3%	3.6%	17.0%	55.4%	8.9%	17.0%	6.3%	10.7%	16.1%

男性 n=121、女性 n=187

\* サンプル数少数のため、参考数値

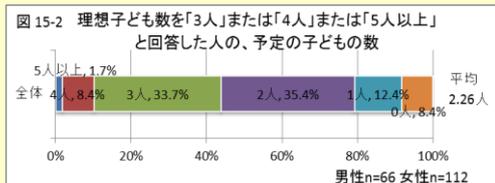
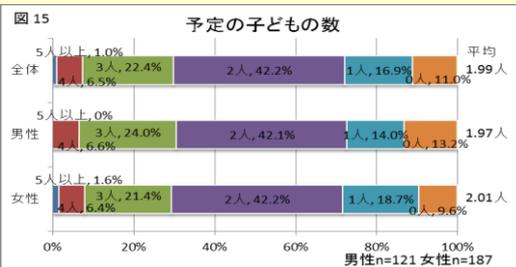
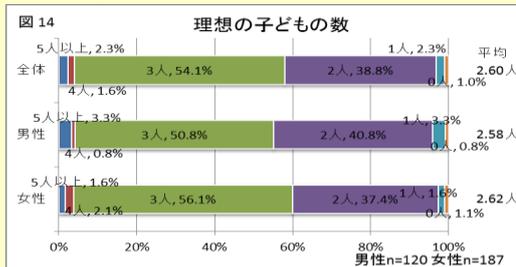
## 理想的な子どもの数は何人ですか？

### また、あなたには、何人のお子さんがいらっしゃるでしょうか？（何人のお子さんを持つ予定ですか？）

#### 理想子ども数と予定子ども数

既婚者にたずねた理想の子ども数は、2.60人で、また、実際に持つつもりの子どもの数は2人を下回り、1.99人だった。

理想は3人くらい、  
実際は2人以下



理想子ども数を「3人」または「4人」または「5人以上」と回答した人の実際の予定子ども数をもても、平均は2.26人で、2人以下の人が半数以上となっていて、出生の意欲はあっても実現されていない姿が浮き彫りになっている。

平均子ども希望数は、5人以上を5として算出した。

## 全員の方にたずねた事項

### 結婚する(した)ことは、利点があると思いますか？

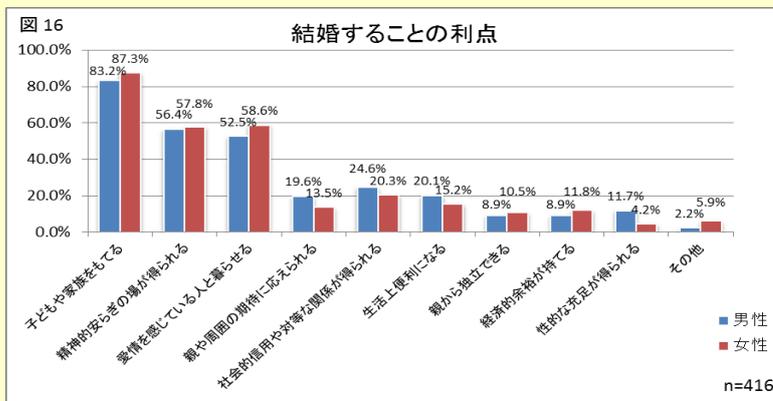
#### 結婚の利点

(複数回答)

結婚すると良いことがあると思っている。

結婚することに利点があると感じている人は95.2%で、おおかたの人が結婚について利点を感じている。

具体的な利点としては、「子どもや家族をもてる」を挙げる人が男女ともトップで、「精神的安らぎの場が得られる」「愛情を感じている人と暮らせる」が次いで5割を超える高い項目だった。



### 独身生活には、利点があると思いますか？

#### 独身の利点

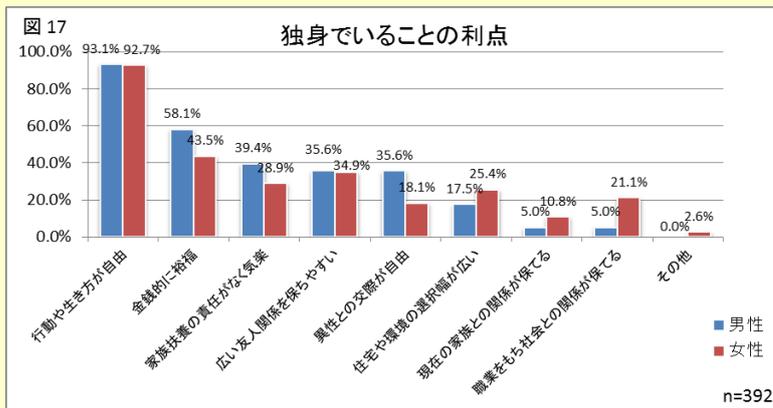
(複数回答)

しかし、独身生活の利点は捨てがたい。

独身生活に利点があると感じている人は89.7%。

独身生活の利点は、男女とも「行動や生き方が自由」を挙げる人が圧倒的に多い。それ以外では「金銭的に裕福」「家族扶養の責任がなく気楽」「広い友人関係を保ちやすい」が多い。

男女別では、「金銭的に裕福」「異性との交際が自由」を利点に挙げる人は男性に多く、「現在の家族との関係が保てる」「職業をもち社会との関係が保てる」は女性に多い。



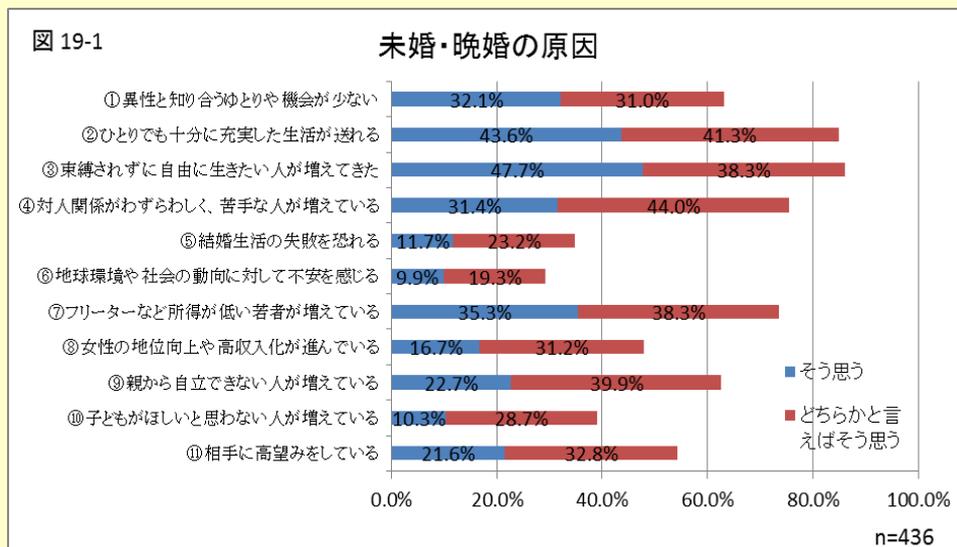
## 結婚しない人や晩婚の人が増えている理由・原因として、次のようなことが考えられていますが、あなたはどう思われますか？

### 未婚・晩婚の原因

「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」割合を合わせたものをグラフ化した。「③自由に生きたい人が増えた」、「②ひとりでも充実した生活が送れる」が80%を超え、「④対人関係が苦手な人が増えている」「⑦所得が低い若者が増えている」が70%を超えていて、これに次いでいる。

③と②の上位2項目は、女性では「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」を合わせた割合が約9割と、大変高い割合でそう思われている。また、「⑧女性の地位向上や高収入化」が原因と思う人も女性の方が割合が高い。

「ひとりでも十分」  
「自由に生きたい」  
という人が増えている  
のが原因か…



設問: 最近、結婚しない人や晩婚の人が増えている理由・原因として、次のようなことが考えられていますが、あなたはどの程度思われますか？ (1. そう思う 2. どちらかと言えばそう思う 3. あまりそう思わない 4. そう思わない)

## 結婚についてどのような支援があればよいと思いますか？

### 結婚支援

(複数回答)

職場環境・雇用の充実に高い要望が。

「夫婦がともに働き続けられるような職場環境の充実」が67.2%で最多。「安定した雇用機会の提供」も65.1%で高い割合だった。その他は「結婚した方が有利となるような税制・社会保障」(51.6%)、「結婚や住宅に対する資金貸与・補助支援」(48.9%)と続いた。

男性は「男女の出会いの場の提供」、「結婚した方が有利となるような税制・社会保障」、「結婚や住宅に対する資金貸与・補助支援」を挙げる人が女性に比べて高く、女性は「夫婦がともに働き続けられるような職場環境の充実」を挙げる人が男性に比べ高い。

